

2025年1月1日
テオリア第148号

定価 350円
毎月10日発行
定期購読料 年間 4000円
半年 2000円

郵便振替口座 00180-5-567296研究所テオリア

θεωρία
テオリア

発行 研究所テオリア
東京都北区田端1-23-11-201
TEL&FAX 03-6273-7233
ホームページ
https://theoria.info
E-mail: email@theoria.info

シンポジウム 世界はますます分断に向かうのか



第13回シンポジウム=2024年11月9日

分断が進むアメリカ

宮崎 礼二 アメリカ経済



大勝したトランプ

11月5日のアメリカ大統領選挙でトランプ大統領、ヴァンス副大統領の共和党候補が当選。アメリカの一番大きな問題と言われている分断がなぜ今日の状況になっているのか。トランプ勝利の背後にある分断をま

絶望死の増加とトランプ支持

アメリカの平均寿命の低下を推し進めているのは何か。日本など他の先進国のように国民皆保険制度が完備していない。今問題になっているのが絶望死。絶望死とは自殺、薬物の過剰摂取、アルコール性の肝疾患で命をなくす

なっていくことが明らか。マジョリティーである白人は自分たちが作り上げたアメリカの平均寿命の低下を推し進めているのは何か。日本など他の先進国のように国民皆保険制度が完備していない。今問題になっているのが絶望死。絶望死とは自殺、薬物の過剰摂取、アルコール性の肝疾患で命をなくす

紙面紹介

分断が進むアメリカ 宮崎礼二……………1~4面
極右・ポピュリズムの伸長と欧州 木戸衛一……………4~8面
生活保護と神権……………8面

研究所テオリア入会を

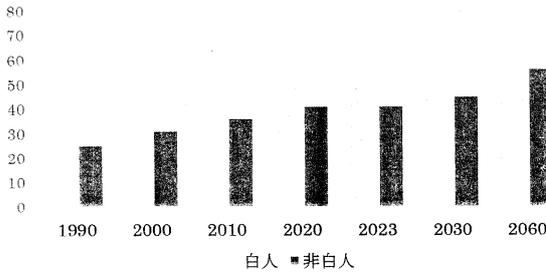
研究所テオリア会費

- 特別会員：10年6万円
- 研究会員：10年1万円
- サポーター会員：10年間6千円

新聞テオリア定期購読を

一般購読定期購読料金
年間 4000円 半年 2000円
郵便振替口座 00180-5-567296研究所テオリア

図：白人と非白人の人口比率



出所：U.S. Census Bureau より作成。

(一面から続く)
 が急激に増えている。
 その中で、自殺もアル
 コール摂取も伸びている
 が、それ以上に薬物の過剰
 摂取による死者数が急速に
 伸びている。今のアメリカ
 を象徴している。
 白人の薬物中毒者に限定
 してみると、45歳から56歳
 男性という生産年齢人口の
 人たちの薬物の死者が増え
 ている。女性よりも圧倒的
 に白人男性。これが薬物中
 毒死者の特徴。
 年齢階層別で見ると、
 25〜34歳、35〜44歳、
 45〜54歳、55〜64歳とい
 う生産年齢人口のほぼ全体
 で絶望死が急速に伸びてい
 る。アメリカ経済の中心を
 担っている人たちの絶望死
 がこの20数年間で増加。平
 均寿命を引き下している。
 もう一つ、地理的に見る

と、オハイオ州、インディ
 アナ州、ケンタッキー州、
 ベンシルベニア州、五大湖
 の南側の錆びついた工業地
 帯(ラストベルト)から、
 その南部にあるアラバマ
 地方に絶望死が集中。特に
 薬物の死者が多い。
 ラストベルトとはアメリカ
 力製造業の中心地。19世紀
 末から20世紀の経済を支え
 てきたアメリカ経済の心臓
 部分。
 1980年代から21世紀
 に、製造業企業の多国籍企
 業化、産業構造の転換の中
 で工場が閉鎖していった、
 この地域に住む労働者たち
 が失業、貧困に追い込まれ
 ていく、こういう状況が見
 てとれる。
 経済の衰退していく地域
 で絶望死が非常に高いのが
 大きな特徴。
 この絶望死の分布と今回

の大統領選挙の結果を見る
 と、絶望死が多い五大湖の
 南側からアラバマ地方は
 赤、赤が共和党のシンボル
 カラー。ラストベルトから
 アラバマ地方が共和党ト
 ランプを勝利させた。
 ラストベルトは元々民主
 党の強い地盤だった。ここ
 が青から赤に変わったこと
 が、2016年トランプ勝
 利を導いた。今回もここは
 赤。アラバマ地方は元々
 共和党が非常に強い。
 こういう状況も合わせて
 トランプ支持が強まって
 いく、そういう絶望死、経
 済の衰退がある。選挙での
 政治選択の特徴が見てと
 れる。
 絶望死と学歴の関係を見
 ていく。一番絶望死が多
 いのが、男性で高校卒業ま
 での学歴、大学教育を受け
 ていない人たちの絶望死が
 非常に多い。
 高卒以下と大学卒業以上
 の絶望死のグラフを見る
 と、絶望死の状況は学歴で
 異なる。
 高学歴の人たちが相対的
 に高い賃金を得て生活が安
 定している。一方、ラスト
 ベルト、アラバマ地方の
 ような産業が衰退して経済

が停滞している地域で高学
 歴を持つていない人たちが
 職業に就けない。貧困に追
 いやられていく。
 ここから抜け出せないこ
 とでアルコール、ドラッグ
 の道に進んで自ら命を絶つ
 ていく、このようなことが
 20数年間アメリカでは見て
 とれる。非常に深刻な状況
 絶望の中にいる人たちが
 つまりアメリカ政治、アメ
 リカ経済から見捨てられた
 人々。この人々の怒りがト
 ランプ支持へ向かう。
 反知性主義とも言われ
 る。民主党のように細かく
 理論的に政策を組んでいく
 というような分らないこと
 とよりも、分かりやすく、
 そんなものはいらないん
 だ。俺がなつたらお前らも
 救つてやるよ。知性を否
 定するようなトランプに救
 いを求めていく。
 こういう状況がトランプ

支持が強まっていく背後に
 はある。今回トランプ前大
 統領が得票を大きく増やし
 た。その背後にはこのよう
 な絶望の中にいて、政治経
 済が救済をしない、放置さ
 れているという人たちの怒
 りがトランプ支持に結びつ
 いた。
 1〜1865年の南北戦争。
 アメリカを二分する内
 戦があった。北部はアメ
 リカ合衆国に対して南部が
 自立してアメリカ連合国を
 作る戦いを挑む。
 南部と北部の決定的な違

いの一つは奴隷制。
 もう一つはあまり知られ
 てないが通商政策を巡る対
 立。
 北部はリンカーンを筆頭
 に奴隷解放を要求する。一
 方、通商政策では保護貿易
 を主張する。南部は奴隷制
 を維持、通商政策では自由
 貿易を主張する。このよう
 に北部と南部で決定的に考
 え方が異なる。南部は奴隷
 制、自由貿易に自らの富と
 権力の基盤がある。北部の
 奴隷解放、保護貿易は飲む
 に飲めないということに
 分裂することになった。
 通商政策を言うと、北部
 は保護貿易で南部が自由貿
 易だった。北部はどういう
 地域か。19世紀前半から後
 半、イギリスや大陸ヨー
 ロッパに運ばれた製造業が
 頭し徐々に成長する。徐々
 に技術を蓄積して発展して
 いくプロセスがあった。
 そういうときに自由貿易
 によって、アメリカよりも競
 争力のあるイギリスなどの
 工業製品が入ってきてしま
 えば、アメリカの製造業が
 淘汰されてしまう。保護貿
 易を取ることによって育成
 中の製造業を守ると北部は
 選択した。
 一方、南部の基幹経済は
 棉花。奴隷制によって棉花
 を生産して、南部の白人た
 ちは富と権力を獲得してき
 た。この生産した棉花をイ
 ギリスに輸出する。当時は
 イギリスが世界最大の綿工
 業生産をしているから、そ
 の原料供給地だった。
 イギリスは主にアメリカ

から輸入した棉花をイギリ
 スの工場で工業製品化して
 イギリス中心の自由貿易で
 世界中に輸出をしていく。
 南部の白人たちはイギリス
 の自由貿易に結びつく形で
 自分たちの利益を獲得して
 いた。
 イギリスの自由貿易から
 外れて保護貿易を主張する
 北部と一緒に自らの富と
 権力を失う。そこで保
 護貿易を否定して自由貿易
 を主張する。
 結果、北部が勝利してア
 メリカ合衆国が一つにな
 る。というところは、奴隷解
 放と保護貿易となり、南部
 を除き、存在してはならな
 い。奴隷労働の禁止を決め
 た。奴隷解放の条文がアメ
 リカ合衆国憲法に加わっ
 た。憲法修正第13条で作り上げ
 まつ。
 しかし、ここで北部は
 メリカ合衆国は南部の分裂
 を食い止める知恵を合衆国
 憲法修正第13条で作り上げ

た。
 合衆国憲法修正第13条第
 1節には「奴隷および本人
 の意に反する労役は、犯罪
 に対する刑罰として当事者
 が適法に宣告を受けた場合
 を除き、存在してはならな
 い。奴隷労働の禁止を決め
 た。奴隷解放の条文がアメ
 リカ合衆国憲法に加わっ
 た。憲法修正第13条で作り上げ
 まつ。
 しかし、ここで北部は
 メリカ合衆国は南部の分裂
 を食い止める知恵を合衆国
 憲法修正第13条で作り上げ

している企業は、自分の施
 設の中にいる人たちが無償
 労働力になる。
 刑務所運営を州政府と契
 約してお金を受け取る。
 食事も様々な刑務所の中
 のサービスを最低限ではな
 く、その人たちが無償労働
 で使つて企業活動を行い、
 それでも利益が出てくる。
 現在においても、解放され
 た奴隷の子孫が未だに犯罪
 者として無償労働を強いら
 れている。
 資本、白人が有色人種を
 徹底的に搾取していく。奴
 隷解放以降も制度的に続い
 ている。これによって、表
 面的には白人社会の分断と
 いうのが阻止されてきた。

社会統合と人種差別

そうすると南部は困る。
 今まで奴隷労働の上に白人
 たちは富と権力を作り上げ
 てきた。だから、こう書い
 てある。犯罪に対する刑罰
 として当事者が適法に宣告
 を受けた場合を除きと。
 つまり、奴隷の代わりに、
 刑務所にいる囚人たちは無
 償労働が可能と入れる。
 その後、黒人は犯罪者で
 黒人は危ないぞ、黒人は野
 蛮だぞというプロパガンダ
 が白人側からハリウッド映
 画を使って広められてい
 く。そういう中で、レイシャ
 ルプロファイリングで警察
 が黒人は犯罪者だとして偏
 見のもと、どんどん摘発し
 て刑務所に収監していく。
 今日に至るまで黒人の収監
 率が白人より5倍高い。
 修正第13条・奴隷解放の
 後、黒人、有色人種を犯罪
 者として囚人労働で使つて
 いく、こうして分断を回避
 してきたのがアメリカの歴
 史。
 もっとも悪質なものは19
 再び大きく変わつてくる
 きっかけは1930年代世
 界大恐慌。大恐慌をきっか
 けに、1933年フランクリ
 ン・ルーズベルト大統領
 が登場してきた。プラット
 リン・ルーズベルトは「アメ
 リカ経済を恐慌から脱出さ
 せるニューディール政策を
 打ち出した。
 しかし、ニューディール
 政策とは、伝統的なメリ
 カの経済理念を真っ向から
 否定する思想。アメリカの
 建国以来の経済理念はレ
 ヴェンチャー、自由放任主義
 イギリスや大陸ヨーロッパ
 の最先端の啓蒙思想を世界
 で最初に現実のものとしよ
 うとアメリカ合衆国をつく
 る。当時、イギリスで最先端
 の経済理念がレヴェン
 論」が発刊されたのが17
 76年。アメリカ合衆国が
 独立をした年。アメリカは
 ヨーロッパ・イギリスの最
 先端の理論を導入した。
 アメリカの伝統的なレ
 ヴェンチャー、自由放任主義
 は市場における競争。
 ルーズベルトはそれでは
 大恐慌から脱出できない
 と、経済学的には、同じ時
 期にイギリスのジョン・メ
 イナード・ケインズが市場
 に政府が介入して足りない

分断のアメリカ史

アメリカの絶望は分断を
 もたらしていると言われ
 る。アメリカ社会、政治に
 おける分断は近年に始まっ
 たものではない。アメリカ
 に脈々と続いていたもの。
 一番代表的なのは186
 1〜1865年の南北戦争。
 アメリカを二分する内
 戦があった。北部はアメ
 リカ合衆国に対して南部が
 自立してアメリカ連合国を
 作る戦いを挑む。
 南部と北部の決定的な違
 いの一つは奴隷制。
 もう一つはあまり知られ
 てないが通商政策を巡る対
 立。
 北部はリンカーンを筆頭
 に奴隷解放を要求する。一
 方、通商政策では保護貿易
 を主張する。南部は奴隷制
 を維持、通商政策では自由
 貿易を主張する。このよう
 に北部と南部で決定的に考
 え方が異なる。南部は奴隷
 制、自由貿易に自らの富と
 権力の基盤がある。北部の
 奴隷解放、保護貿易は飲む
 に飲めないということに
 分裂することになった。
 通商政策を言うと、北部
 は保護貿易で南部が自由貿
 易だった。北部はどういう
 地域か。19世紀前半から後
 半、イギリスや大陸ヨー
 ロッパに運ばれた製造業が
 頭し徐々に成長する。徐々
 に技術を蓄積して発展して
 いくプロセスがあった。
 そういうときに自由貿易
 によって、アメリカよりも競
 争力のあるイギリスなどの
 工業製品が入ってきてしま
 えば、アメリカの製造業が
 淘汰されてしまう。保護貿
 易を取ることによって育成
 中の製造業を守ると北部は
 選択した。
 一方、南部の基幹経済は
 棉花。奴隷制によって棉花
 を生産して、南部の白人た
 ちは富と権力を獲得してき
 た。この生産した棉花をイ
 ギリスに輸出する。当時は
 イギリスが世界最大の綿工
 業生産をしているから、そ
 の原料供給地だった。
 イギリスは主にアメリカ

(3)面から続く

半分近くの人たちが共和
党。今回もトランプ候補に
投票する。国民皆保険制度
はいらないという人たちが
とてつもない。

なぜかという、生存権
を必要とするのか、個人の
自由を尊重するのかどちら
か。アメリカ合衆国とはそ
もも個人の自由から始
まった国だから、我々は自
由が侵害されるのは嫌だ
と。国民皆保険制度を導入
すると、政府は財政上医療
費負担を削る。医療費を削
るためにどうしたらいい
か。アメリカ人の一番の死
亡原因は心臓病、糖尿病、
がんとかの生活習慣病。そ
うなると、毎日の生活で政

府がポテトチップスを食べる
な。コカ・コーラ飲むな
タバコ吸うな、ビール飲む
な。俺の自由を侵害
して。個人の自由の侵害
で合衆国憲法違反ではな
いか。だから、いらないと
なる。つまり、個人の自由
を最優先する考え方。

移民国家における移民問題

この考え方に對して民主
党は生存権、社会権を主張
して、政府が国民の命と健
康に責任を持たなければい
けないと主張する。

決定的な考え方の違いで
融合できなくなるのが今の
状況。

民主党的な社会保障を振
奮していくと財政支出が増
える。大きい政府で連邦政
府が力を持つと、封建制と

一緒になる。俺らは封建制
を否定して作った国なんだ
から認めない。保守は小さ
な政府でいい。つまり社会
保障なんていらない。連邦
政府は力がなくていいと考
える。

民主党・リベラルは19
30年代ニューディールを
今も実行していく。一方、
共和党・保守はアメリカの
伝統を21世紀でも忠実に実
行していく考え方。

決定的に理念、思想が融
合できない。こういう状況
が続いている。

それから、移民国家にお
ける移民問題。今回、トラ
ンプに投票したヒスパニッ
ク、黒人がいっぱいいる。
黒人差別、移民排斥しよう
というのに、今回ヒスパ
ニック、黒人でトランプ支
持が増えた。

これは何か、白人至上主
義とか、元々トランプを強
く支持する人たちは、WA
SPと言われるアメリカ建
国以来のイギリス系プロテ
スタントの人たち、元々、
WASPと非白人系の対立
があった。白人は同じ移民
でも白人ではないと差別し
てきた。

しかし、今は非白人が非
白人の移民を差別する。合
持が高まっている。

不法移民を強く排除して規
制していかないと、自分た
ちの安全が守れないと。民
主党では駄目なんだ。自分
たちの生活を守るには強く
やってくるトランプが必要
なんだと。今回、ヒスパ
ニックも黒人もトランプ支
持が高まっている。

ここも非常に難しい。同
じ人種、同じ民族同士で合
法・非合法で対立が生まれ
てしまっている。

リベラル、保守という社
会問題に対する価値観もあ
る。同性婚、人工妊娠中絶、
LGBTQの問題。この背
後に、キリスト教の神の教
え、聖書に忠実に従うとな
れば、同性婚も人工中絶も
LGBTQもあってはなら
ないこと。

このように様々な対立が
全面的に表面化していく中
で経済的に見放された人た
ちが絶望的な閉塞感の中で
ドラッグで死んでいく。

そういう中で、トランプ
のような保守は、アメリカ
の人たちに誇りを取り戻し
てアメリカ第一主義でアメ
リカ経済を立て直す。困窮
し貧困に追いやられている
皆さんも豊かになって、誇
りを持てるようになる。と
つまり、救世主をトランプ
に見いだしている。

本心にどうなるか。当然
イーロン・マスクを代表す
るような大統領になる。地
べたに足をつけて苦しんで
生きていた人たちにきちん
と経済の救済が回るか。経
済の循環がそこまで行き着
くか。むしろ、上のところ
だけで富を吸い上げて、さ
らに二極化が進んでいくの
は確実。

それでも、人々は民主
党では訳のわからない知的な
ことばかり言っていて、当
てにならない。

だったら、はっきり言
てくれるトランプの方がい
い。こういう選択が取ら
れ、国民の選択として今回
の選挙の結果に繋がったと
言える。

日本は国家安全保障戦略
で2027年度には倍の2
%にすると言っ
今度は3%にしろと必ず
言ってくる。できないと言
うんだ。たらミサイルを
もっと買えよ。

全部アメリカにお金が戻
るような形の交渉術とし
て、10%を使ってくる。日
本は防衛費の増額に耐えら
れるのか。社会保障の削減、
消費税の増税しかなくな
る。

極右・ポピュリズムの 伸長と欧州

木戸衛一 現代ドイツ政治・平和研究

ドイツ現代史と平和研究

今日1月9日は、ドイツ
の歴史では意味深長な日付
だ。

1918年、第一次大戦
末期、国会議事堂の窓から、
多数派社会民主党のフィ
リップ・シャイデマンが共
和国宣言をする。それから
数時間経たずに、スハル
タクヌ団のカール・リープ

クネヒトローザ・ルク
センブルクの盟友だった彼
が、王宮の窓から自由社会
主義共和国宣言をする。そ
ういう日だ。

5年後1923年には、
ヒトラーがミュンヘンで
クーデターを試みて失敗す
る。彼は10年後に政権につ

その5年後1933年の
1月30日は、「水晶の夜」と
呼ばれる「帝国国会クロー
ムの夜」と言った方がいる。
ユダヤ教会、ユダヤ人商店、
施設がナチスに襲撃され
た。仕組まれた襲撃で飛び
散るガラスが水晶のように
綺麗だと、襲撃した側が「水
晶の夜」と言っている。

これは記憶にあると思う
が、1989年の11月9日
にはベルリンの壁が崩れ
ます。あるいはヨーロッパ
も、状況はひどいものだど
まっしげにおきたい。

先ほどアメ
リカの分析を
学んだ。ドイ
ツも、あるいはヨーロッパ
も、状況はひどいものだど
まっしげにおきたい。



去年(23年)3月に阪大
は定年退職したけれど、招
へい教授という肩書きがつ

た。今週はベ
ルリンなど
で、壁崩壊35
年のいろいろ
ないイベントが
行われている。
先ほどアメ
リカの分析を
学んだ。ドイ
ツも、あるいはヨーロッパ
も、状況はひどいものだど
まっしげにおきたい。

去年(23年)3月に阪大
は定年退職したけれど、招
へい教授という肩書きがつ

た。今週はベ
ルリンなど
で、壁崩壊35
年のいろいろ
ないイベントが
行われている。
先ほどアメ
リカの分析を
学んだ。ドイ
ツも、あるいはヨーロッパ
も、状況はひどいものだど
まっしげにおきたい。

去年(23年)3月に阪大
は定年退職したけれど、招
へい教授という肩書きがつ

た。今週はベ
ルリンなど
で、壁崩壊35
年のいろいろ
ないイベントが
行われている。
先ほどアメ
リカの分析を
学んだ。ドイ
ツも、あるいはヨーロッパ
も、状況はひどいものだど
まっしげにおきたい。

第二期トランプ政権と 「貧国強兵」

この状況で、再びト
ランプ大統領に2025年
から4年間。

日米関係にどう影響
を及ぼすか。いろんなパ
ターンがあり、自いように
はならない。

トランプ次期政権は何を
真っ先に言っているか。こ
存じのように、この間政権
復帰で中国には60%の追加
関税、その他の国は一律10
%、20%の関税率を適用す
ると言っている。

これはやりません。やる
として、そこまで高いの
はやらない。

これはトランプ交渉術。
まっ相手に対して、とてつ

もない数値を示す。そうす
ると、みんなひっくり返る。
交渉に入ったときに、下げ
てほしいんだら、これ
飲めよと。アメリカ側から
すると、これ飲ませてこれ
飲ませて、最初こうだった
らこの辺までやれるから全
部取れるとなる。

トランプは全部取らない
と駄目な人。これを取るた
めにこっちは妥協するのは
駄目。だから、最初は要求
を大きくして、少しず
つ下げながら取っていく。
結局これは通ったし、ここ
の部分でも取れたという交
渉。

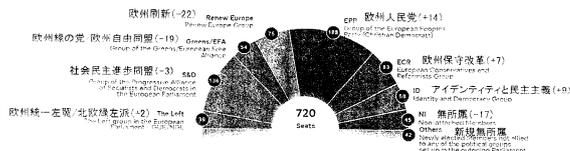
私は貧国強兵政策と言っ
ている。みんな貧しくなっ
て、軍隊だけ強くなってい
く国になる。

トランプの登場で、日本
の軍拡路線がさらに進んで
いく、財政的には非常に深
刻。国民生活を圧迫せざる
を得ない。これが一言で言
えるトランプ政権の日本に
対する影響。

(1月9日講演)

2024.6.6-9 第10回欧州議会選挙

- ・【参考】拙稿「ドイツにおける極右地方政権への道 - 欧州議会選挙を振り返る」
https://www.peoples-plan.org/index.php/2024/07/01/post-1146/
- ・投票率: 平均51.08% (クロアチア21.35%~ベルギー89.82%)
- ・特にフランス・ドイツ・オーストリアで極右勢力が躍進
- ・マクロン仏大統領、国民議会(下院)解散 => 6.30/7.7 総選挙: 左翼連合(NFN) 182/577、マクロン陣営250->168、国民連合(RN) 143



(4面から続く)
と、高校生の私も非常に心配した。
それで、家で取っていた新聞が何かの投書が目についた。そこには、これはまるでワイルドな共産主義のドクトリンではないかと、本来であれば立ち位置の近いはずの社会民主党と共産党が、いわば兄弟げんかを繰り返して、それをナチスが利用していった。そのドイツの状況と今の東京が似ているという投書があった。すごく心に響いた。それで、大学でドイツの政治、歴史を勉強しようと考えた。

もつづは平和研究、日本平和学会が23年50周年を迎え、墨田川高校出身で東京空襲の被災地域、当時被災した生徒はたくさん

人間の尊厳をめぐる 二重基準

同じ第二次大戦後の敗戦国でありながら、日本とドイツは大違いだという意識は大なり小なり持つておられると思う。特に過去に対する眼差しは、1985年の西ドイツのヴァイツゼック大大統領演説と中曽根総理演説は大違い。
その認識は決して間違っていない。過去の眼差し、ないしナチズムへの反省は、単に歴史政策だけでは

いる。ところが、私の高校生のときに墨田川高校で東京空襲の「と」の字も出てこない。なぜ教えられなかったんだという怒りがある。ところが、私の高校生のときに墨田川高校で東京空襲の「と」の字も出てこない。なぜ教えられなかったんだという怒りがある。

なく、戦後ドイツ政治には、環境保護でも、難民受け入れ、気候変動対策、脱原発でも倫理性、道義性があつたと思つた。
ところが、23年10月7日以降、一方的にイスラエルを支持する、これだけ殺戮が繰り返されてもイスラエル支持を止めない。

父親も東京空襲で家を焼かれています。母親は満州育ち。当時の状況を両親は私たちに話して、くれた。法のことだ。
基本法第一条は「人間の尊厳は不可侵である。これを尊重し、および保護することは、全ての国家権力の義務である。」

イスラエルからドイツに移ったユダヤ人がガザの状況があまりにもひどいと、たった一人で手書きのブックレットに「ガザでのジェノサイド反対」を掲げた。黙ってジェノサイド反対、とそれだけで捕まる。ブックレットを掲げていたユダヤ人に対して、「反ユダヤ主義」だとレッテルを貼る。日本でも右翼が自分たちの気に入らない人間に「反日」のレッテルを貼ると同じ

だ。ドイツもそこまです倒錯した状況になっている。ドイツの政治を考えると基本法がある。これは憲法のことだ。
基本法第一条は「人間の尊厳は不可侵である。これを尊重し、および保護することは、全ての国家権力の義務である。」

ドイツの国家権力はこれまで露骨に差別をするのか、自分は何という国を40年近く研究してきたんだらうという暗喩たる思いをこの間抱いている。

経済のあり方が社会・政治の基盤をなす。アメリカは自由競争で血洗いから億万長者というが富裕層になるのはごくわずかだ。
ヨーロッパ代表格はドイツで、やはり市場経済なのでそれなりのリスクはある。でも、リスクによるコストをなすベミニニムムにしようと。そこで失業保険、疾病保険、介護保険という発想が出てくる。

しかし、スーサン・ジョージの言葉を借りれば、西洋の内戦でヨーロッパは敗北した。言い換えると、社会的市場経済という社会的な側面に目配りしているところというヨーロッパのあり方は今や見る影もない。
もう一つ、先ほど出てきた反知性主義、リチャード・ホフスタッター「アメリカの反知性主義」(みすず書房)が書かれている。

しかしながら、23年10月7日以降深刻に考えているのは、その啓蒙そのもの。文知を豊かにしていくことによつて、差別とか偏見が克服されていくと。大雑把に言うところの発想が基本線としてあつたと思う。だから、社会の進歩が多く語られてきた。

24年6月にヨーロッパ議会選挙があつた。特にフランス、ドイツ、オーストリアで極右勢力が躍進した。選挙前から、「欧州保守改革」と「アイデンティティと民主主義」という欧州議会の会派があつた。グループからは欧州保守改革が穏健に見え、どちらも極右のその極右がキープ・ジョージを擁護しつつある。なぜこんな結果になったのか。
欧州統合を原理的に破壊しようとする勢力が割に達したということ。今回のアメリカ大統領選挙にも通ずるヨーロッパの政治的雰囲気が見取れる。

2022年にはロシアがウクライナに侵略戦争を行う。これに端を発してインフレがひどくなる。難民は持続的に入ってきている。こうして、有権者の意識が内向きかつ感情的、近視眼的になっている。
ひどい言い方もしれないが、本当にも考えないで投票する。アメリカ大統領選挙と相通するものがあるかと思う。生活が苦しくなっているというのは確かにある。しかし、事実などどうでもよくて憂鬱晴らして投票するのは、あまりに短絡的ではないか。

もちろん貧困という問題はあつた。たまたま的に見れば、貧乏は貧乏で済んでいる。既存の問題は何も変わっていない。ところが憂鬱晴らして投票するのは、あまりに短絡的ではないか。

5年経って、そうした問題提起は「テオロギック」だ、というレッテル貼りを保守、極右、ネオリベがする。彼らは原発の問題でも共同戦線を組んでいる。気候変動がこの間緩和されたのか。そんなことはない。コロナ・パンデミックで少し生涯活動が鈍化したので、地球環境がましになったか。全然そんなことはない。そして貧困の格差もつとひどくなっている。既存の問題は何も変わっていない。ところが憂鬱晴らして投票するのは、あまりに短絡的ではないか。

アメリカとヨーロッパが今日のテーマになっていく。聞こえるかもしれないが、ルタ・ケルバーレーショ「宣言」(作品社)の一つの章に、「西洋の内戦でヨーロッパが勝利するならもう一つの世界は可能だ」という意味

ヨーロッパが勝利するならもう一つの世界は可能だ」という意味

24年欧州議会選挙と 極右の躍進

24年6月にヨーロッパ議会選挙があつた。特にフランス、ドイツ、オーストリアで極右勢力が躍進した。選挙前から、「欧州保守改革」と「アイデンティティと民主主義」という欧州議会の会派があつた。グループからは欧州保守改革が穏健に見え、どちらも極右のその極右がキープ・ジョージを擁護しつつある。なぜこんな結果になったのか。
欧州統合を原理的に破壊しようとする勢力が割に達したということ。今回のアメリカ大統領選挙にも通ずるヨーロッパの政治的雰囲気が見取れる。

ヨーロッパ極右の再編

欧州の極右は、欧州議会選挙直後に再編した。ハンガリー、オーストリア、チェコの極右指導者、特にハンガリー首相オルバン・ヴィクトルが中心になって、「欧州のための愛国者」という欧州議会の新会派を7月に立ち上げた。7カ国84議席の第3勢力として登場してきた。中心的な役割

を果たすのは、フランスの国民連合になる。それとは別に「主権国家の欧州」という会派もできた。「ドイツのための選択」がイニシアティブを握っている。
「欧州保守改革」はイタリヤ首相メロニの政党「イタリアの同胞」が中核的な

(5面から続く)

役割を果たしている。現在ヨーロッパの極右は、三つの勢力に分かれている。

極右政党はほとんど「自国ファースト」を唱えていて、そうした政治勢力の大同団結はある種自己矛盾に見える。

でも、彼らは欧州統合を原理的に破壊しようと考えている点で一致している。その背景にはプーチンとの繋がりもある。

もちろん欧州統合自体の問題点はある。決して欧州統合は素晴らしいと手放しで礼賛することはできない。けれど、そういうこと

オルバーンの非リベラル民主主義

極右の権力者は難民、LGBTQ、中絶擁護派らを敵視している。権力を合法的に確保し続けるために、民主主義の基本である三権分立に穴を開け、司法を権力追従に改編している。議会はほとんど与党の独壇場だ。

作家は入れてもらえない。これに対して、ベルリン・ペンクラブがオルタナティブなプロگرامを用意した。

先ほどのオルバーン・ハンガリー首相が、このような手法のある種ひな形になっている。もともと、オルバーンは比較的左派だった。彼の政党フィデス党が左にいても自分たちをうまく

政治機構だけでなく、さまざまな文化機関も政府のプロパガンダ装置に変質させようとしている。先月、ライプツィヒと並んで有名なラウンクフルト書籍見本市が開かれた。2024年ラウンクフルト書籍見本市の中心テーマはイタリヤ。イタリヤから送られた代表団は全員政府の息のかかった人たちがばかり。批判的な

とは別に、暴力的な権力政治を志向するロシアとの繋がりを極右は大きな力を持っているという点は言っておかなければいけない。

欧州議会選挙前にヨーロッパ委員会委員長のフォンデアライエン委員長は、しきりにメロニーに媚を売っていた。仲良くして何とか欧州政治を円滑に運びたいという下心をあけずけに示していた。メロニーは戦後イタリヤのネオファシズム政党「イタリヤ社会運動」の系譜を引いている。青年運動から「イタリヤの同胞」を立ち上げた真正正銘の極右だ。

作家は入れてもらえない。これに対して、ベルリン・ペンクラブがオルタナティブなプロگرامを用意した。

先ほどのオルバーン・ハンガリー首相が、このような手法のある種ひな形になっている。もともと、オルバーンは比較的左派だった。彼の政党フィデス党が左にいても自分たちをうまく

追隨するスロバキア

彼の政治スタイルは「非リベラル民主主義」。リベラル民主主義ではないが、非リベラル民主主義も一応選挙はやる。

その選挙自体も、既にマスメディアは政府の応援団みたいなもの。フェアとは言えないところが多々ある。それで議会で多数派を取ると、その多数派を使って、権利を制限するような法律を作る。官僚機構も従順にさせる。司法制度も空洞化する。我々の記憶に鮮明な安倍晋三がやったことによく似ている。

2015年難民危機のとき、ヨーロッパは全体として、各国に難民割り当てをうとした。ハンガリーはポーランドと共に、頑なに拒否する。そこには、明らかにならぬ差別があった。しかし他方で考えなければいけないのは、2008年ユーロ危機だ。

この時ドイツは、本当に傲慢な態度をとった。ギリシャやイタリヤ、スペイン、ポルトガルに緊縮財政を強要する。戦後ドイツの原則の一つはドイツのヨーロッパ化。つまり、ヨーロッパの一員としてドイツは生きていくと、いつか欧州統合を願っていた。

合を進めてきたはずだ。なのに、2008-09年に露わになったのは、ヨーロッパのドイツ化。要するに、ドイツの思うようにヨーロッパを引きまわすという姿が顕著になった。

オルバーンが難民受け入れを徹底的に拒んだ背景には、そういったドイツに対するあてつけ、意趣返しという面もあった。

しかし、オルバーンの非リベラル民主主義は本当に強権志向だ。それから、妄想的。極右は当然ナショナリズムを掲げる。そのナショナリズムでもって、かつての国境の回復とありえないことを言う。サッカー場を訪れたオルバーンの写真を見ると、彼が首に巻いているスカーフのハンガリーの地図は、1920年以前の国境。現在のオーストリア、クロアチア、ルーマニア、ウクライナなどの一部は本当はハンガリーのものだと言っている。軍隊を動かすことはまだ起こっていないけれど、底意は全部左派のせいだ。左派が悪いんだ。左派が進めてきたものが国を破壊しているんだと言っている。

例えは、先ほどのアメリカの分断でも見られるように、個人一人一人の民族、人間の尊厳は一種、民族、性がどうであらうが、性的指向がどうであらうが一人一人が大それたものが国民主義の基盤。けれども、そういう考え方が左翼だ。それによってスロバキアは荒廃しているんだ。シンコウイ・チョウヴァ文

戦後オーストリアの自己欺瞞的歴史認識

社会民主主義。看板が社会民主主義だから中身が社会民主主義ということはない。

今のフィツォ内閣にはスロバキア民族党というむき出しの極右政党が入閣している。それによって文化政策、国家改造政策が進められていく。背景はよくわかっていないが、強権的政策を進める首相に対して銃撃事件が起こる(24年5月16日)。

オーストリアの選挙については、「国民宰相」の再来。オーストリア国民議会議長を振り返る(『地平』24年12月号)で論評した。

戦後オーストリアは日本とも相通するものがある。オーストリア自由党は元ナチの政党だと新聞とかに書いてある。正確ではない。1945年にオーストリアでは戦後最初の選挙が行われて、このときに元ナチは選挙権を持たなかった。その人たちがその後オーストリア自由党の前身の政治組織に流れ込んだことは事実。

これを純スロバキアとする。放送についても、政府のプロパガンダを流させる。日本でも「政府が右に合わないものは助成金をカットされる。博物館長などを交代させる強権的人事

オーストリアの選挙については、「国民宰相」の再来。オーストリア国民議会議長を振り返る(『地平』24年12月号)で論評した。

戦後オーストリアは日本とも相通するものがある。オーストリア自由党は元ナチの政党だと新聞とかに書いてある。正確ではない。1945年にオーストリアでは戦後最初の選挙が行われて、このときに元ナチは選挙権を持たなかった。その人たちがその後オーストリア自由党の前身の政治組織に流れ込んだことは事実。

オーストリア自由党は、保守の国民党と社会党(現在は社会民主党)に対する第3勢力として結成されたが、国民党も社会党も決してシロではなかった。これはオーストリア人の歴史認識がある種日本人と似ていることと関連している。日本人の場合は侵略戦争にも関わらず、広島・長崎のおかげで自分たちは悲惨な戦争の被害者だと、自己欺瞞的に戦後生きてきた

プーチンとの友好関係

話を元に戻すと、1943年11月モスクワ外相宣言で、オーストリアはナチ・ドイツの最初の犠牲国であると規定している。つまりドイツがオーストリア、チェコスロバキア、ポーランドと併合侵略していく過程で、オーストリアはナチ・ドイツによる最初の被害国だったと連合国がお墨付きを与える。また大戦の最中で枢軸国の戦線が崩壊するにつれて、オーストリアの女性にいい思いをさせてあげると約束し

オーストリアの場合、戦争中1943年11月に行われたアメリカ、イギリス、ソ連のモスクワ外相会談が重要な意味を持つ。

1938年にオーストリア併合があった。ご承知の通り、ヒトラーはオーストリア人。彼がドイツに行つたのは第一世界大戦で兵隊になりたくなかったから。それは別に平和主義でも何でもなく、ハプスブルク帝国オーストリア・ハンガリー帝国が多民族国家、つまり現在のオーストリアだけではない。ポーランド、ハンガリー、チェコスロバキア、スロベニア、クロアチアなどを含む多民族国家だったという理

オーストリア自由党は、保守の国民党と社会党(現在は社会民主党)に対する第3勢力として結成されたが、国民党も社会党も決してシロではなかった。これはオーストリア人の歴史認識がある種日本人と似ていることと関連している。日本人の場合は侵略戦争にも関わらず、広島・長崎のおかげで自分たちは悲惨な戦争の被害者だと、自己欺瞞的に戦後生きてきた

出による。つまりヒトラーはドイツ至上主義者で、多民族国家オーストリアのために統を持つ気はさらさらない。というところで、ドイツに行つた。戦後は自分たちはヒトラーの被害者ですと口を拭く。

1938年のオーストリア併合は、ヒトラーが故郷に錦を飾ることを意味した。そして、オーストリア人はこれを熱狂的に支持した。実はオーストリアは、第一次大戦後にドイツ・オーストリア共和国という国名にしようとして、連合国、特にイギリスやフランスの反対で通らなかったことがある。こんなところではオーストリア人国ではやっつけられない。ドイツと一緒になければいけない。オーストリアのエリートもオーストリアの民衆も思っていた。

オーストリアの場合、戦争中1943年11月に行われたアメリカ、イギリス、ソ連のモスクワ外相会談が重要な意味を持つ。

1938年にオーストリア併合があった。ご承知の通り、ヒトラーはオーストリア人。彼がドイツに行つたのは第一世界大戦で兵隊になりたくなかったから。それは別に平和主義でも何でもなく、ハプスブルク帝国オーストリア・ハンガリー帝国が多民族国家、つまり現在のオーストリアだけではない。ポーランド、ハンガリー、チェコスロバキア、スロベニア、クロアチアなどを含む多民族国家だったという理

オーストリアの女性にいい思いをさせてあげると約束し

オーストリアの女性にいい思いをさせてあげると約束し

オーストリアの女性にいい思いをさせてあげると約束し

オーストリアの女性にいい思いをさせてあげると約束し

オーストリアの女性にいい思いをさせてあげると約束し

ドイツの欧州議会選挙結果

・16歳で選挙権、5%条項なし

	得票率 (%)	(増減)	議席数
キリスト教民主・社会同盟 (CDU/CSU)	30.0	(+1.1)	29
ドイツのための選択 (AfD)	15.9	(+4.9)	15
社会民主党 (SPD)	13.9	(-1.9)	14
90年連合・緑の党	11.9	(-8.6)	12
ザラー・ヴァーゲンクネヒト連合 (BSW)	6.2	(+8.2)	6
自由民主党 (FDP)	5.2	(-0.2)	5
左翼党	2.7	(-2.8)	3
自由選挙民 (FW)	2.7	(+0.5)	3
ヴォルト	2.6	(+1.9)	3
サ政党	1.9	(-0.5)	2
動物保護党	1.4	(±0.0)	1
エコロジー民主党 (ÖDP)	0.6	(-0.3)	1
家族党	0.6	(-0.1)	1
進歩党 (PdF)	0.6	(+0.6)	1



6月欧州議会選挙が初めて自由党が第一党になった。自由党はキックルという人物。ハイターと比べるとカリスマ性は無いが、トランプに多少似ているかもしれないけれど、庶民に近いことを売りにする。オーストリア総選挙は9月。総選挙の2週間くらい前、オーストリアでは大雨が降って洪水被害が起こった。

オーストリア 自由党が第一党に

た。このことが2019年にも発覚する。そういうわけで、自由党は下野せざるを得なくなっている。

た。だが、このスキャンダルの背景を作った統一オーストリアの友好条約は今でも続いている。選挙で敗れた。選挙で国民民主党も議席を減らした。ネオオーストリアの自己定義を変えようとしている。どういった意味か。それは、EUから脱退するための布石だ。教育や文化の面で、自由党に気に入らないものは排除していく。これらの主張は、部分的には既にEU法、オーストリア憲法に違反している。そういったものを強制的に行おうとするのが「国民宰相」ということになる。

「国民宰相」とは、かつてヒトラーが自分のことを一時期そう呼ばせていた。オーストリア自由党はこの言葉を、何の遠慮もなしに今使っている。キックルを国民宰相に押し上げようとする。つまり、ナチズムの過去の何が悪かったのかと、無反省を剥き出しに打ち出している。

キックルは、選挙運動の中で再移住レミグラツィオンを強調した。再移住とは移民の背景のある人々を元の国に帰ってもらうという。オーストリア国籍を持つていようが持っているが、移民は出て行かない人間はオーストリア国籍を返せと言いつつ恐れがあるのだ。

ポピュリストはよく直接民主主義に訴える。自由党は、25万筆の請願が集まれば国民投票を行わせようとしている。それは、「無能な政府」をリコールする石石

やったユダヤ人強制移住、ユダヤ人は出ていけということも発想は瓜二つだ。多くのオーストリア人はこれを支持したことになる。オーストリアでは、大統領が選挙結果を受けて政党のリーダーに閣内を依頼することが1929年から行われている。通常は第一党の党首に閣内を依頼する。今回は初めて第二党で現首相であるネーハンマー閣内を依頼した。フォンデアレン大統領は国民民主党と社会民主党で政権を早く作ってほしいと要請した。けれども、両党とも票を減らし敗者の連合になってしまつたので、ネオオーストリアを組み入れることが考えられる。

オーストリアの場合、選挙から新閣内ができるまでの所要日数が平均62日。今回62日は足りず、もっと時間はかかるだろう。3日前にドイツ三党連合政権が潰れた。これがオーストリアで三つの政党による政権作りには何らかの影響を与え、それは明らかだ。知識人・文化は自由党を元の国に帰ってもらうという。オーストリア国籍を持つていようが持っているが、移民は出て行かない人間はオーストリア国籍を返せと言いつつ恐れがあるのだ。

この頃からこの政党は極右化していく。ネオナチという言葉はよく聞かれたと思うが、ナチの何が悪かったんだと居直るだけではなく、暴力に訴えるポテンシャルの高い勢力だ。特に2015年の「難民危機」以降、その傾向がどんどん強くなつていく。AfDは自分たちでは「市民の保守的政党」とか言っているが、カムフラージュではない。

一つは歴史否認。ドイツがナチズムの過去を反省するのは、日本流に言えば「自虐」であると拒否する。ナチやヒトラーの時代というのは、「ドイツのサクセスストーリー」の中の鳥のフンに過ぎない」と言う。そして人種差別。これはアリス・ウァイデルという共党代表の最初の国会演説、彼女をこぞ「ブルカ、スカートの少女、食い扶持を与えられたナイフ男、その他のろくでなしたち」を非難した。全部移民を指している。こういう暴言を国会で吐いている。

「ドイツのための選択」の極右化

本来の私のテーマである「ドイツのための選択」(AfD)。若い政党だが、時間とともに極右化の二途を辿っている。この政党は13年、ネオリベ経済学者が立ち上げた。この初代代表は2015年党大会で凄まじいブーイングを浴びて、代表だけでなく、党自体から退いた。党を立ち上げた人物に向けた凄まじい罵声は、非常におぞましいものであった。

一つは2015年難民危機。その前から「西洋のイデオロギイに反対する愛国的欧州人」(ヘギータ)というドレステンを中心とした人種差別運動があった。彼らは難民排斥だけでなく、メルケル首相やカプリーエル副首相を標的にするという模範を持ってデモした。ドイツではデモは盛んだけれども、これほどプリミティブ、粗雑で暴力的な姿を見せたことはなかった。

「狂気の時代」に入るのか

その武器はどこから来るか。恐ろしいのは、軍隊とか警察とかからの横流しがあることだ。本来であれば、国家を防御するための機関から、その国家を打倒しようと思っ

「狂気の時代」に入るのか。ドイツは東西で政党支持がはっきりと分かれていて。政党のシンボルカラー前にドイツで起こった事件。警備の間際を突いて、極右の群衆が国会に突入した。幸いなことに4人の警備員が必死に入口を閉めて中に入れなかった。

この時の写真で黒白赤の旗が見える。これはドイツ第二帝政の旗。どうして第

二帝政の旗。どうして第

